

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道 399号 津島バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福島県	
起終点：自：福島県双葉郡葛尾村大字落合 至：福島県双葉郡浪江町大字津島		延長：7.8 km	
<b>事業概要</b> 国道399号は福島県いわき市を起点とし、山形県南陽市に至る延長165 kmの主要な幹線道路であり、広域的な連携・交流を促す重要な路線である。津島バイパスは、幅員狭小及び線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図ると共に、異常気象時事前通行規制区間の解消を目的とした、延長7.8 kmの2車線道路である。			
S54年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	S55年度用地着手	
		S55年度工事着手	
全体事業費	約43億円	事業進捗率	
計画交通量	2,480台/日	供用済延長	
		6.3 km	
費用対効果分析結果	B / C (事業全体) 1.7 (残事業) 2.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 6 / 61億円 事業費：4 / 51億円 維持管理費：2 / 10億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 14 / 100億円 走行時間短縮便益：14 / 98億円 走行費用減少便益：1 / 2億円 交通事故減少便益：0 / 0億円
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（相双地域、いわき地域生活圏の連携が強化される） ・災害への備え（異常気象時の事前通行規制区間を解消できる）			他3項目に該当
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道399号は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、沿線の首長からなる国道399号改良整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成16年8月20日）を受けている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 緊急輸送道路第二次確保路線（平成9年度）に位置付けられ、より一層重要性が増している。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> これまでに、用地買収が終了し、終点側の延長6.3 kmを供用している。残る延長1.5 km区間については、改良工事を実施している。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成16年度には用地買収が終了しており、全線に渡り工事を進めていることから、平成20年の全線供用予定である。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生路盤材等の利用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。			
<b>対応方針</b> ：継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b>			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。